

令和5年度 中学校学習指導要領実施状況調査について(結果のポイント)

調査の概要

速報版

【目的】

中学校学習指導要領の次期改訂に資するため、今次改訂の改善事項を中心に、各教科等の目標や内容に照らした生徒の学習の実現状況について調査研究を行い、検討の基礎となる客観的データ等を得るとともに、教育課程の基準に係る課題の有無及びその内容等を検証・総括する。

【時期、対象学年及び教科等】

- 調査時期：調査①令和5年11月1日（水）から令和5年12月22日（金）
（音楽、美術、技術・家庭、保健体育、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動）
調査②令和6年1月22日（月）から令和6年3月19日（火）
（国語、社会、数学、理科、外国語（英語）、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動）
- 調査対象：国公立及び私立中学校 1,356校（義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程含む） ※全学校の約13.2%、無作為抽出
実施生徒数（延べ） 159,150人
- 内容：各教科で、①今回の改訂の基本方針に関する事項、②各教科等の主な改善事項（今回の改訂で新設された事項、学年及び学校種を超えて移行した事項）、③従来、課題とされている事項の視点に基づくペーパーテスト調査を実施するとともに、一部教科で実技調査を実施。あわせて、生徒、教師、学校長を対象とした質問調査をオンライン形式にて実施。
 - ・ペーパーテスト調査：第1～3学年 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、技術・家庭、保健体育（体育分野、保健分野）、外国語（英語）
 - ・質問調査（学校）（生徒、教師）：第1～3学年 特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動
 - ・実技調査：第2学年 保健体育（体育分野）、第3学年 美術、技術・家庭（家庭分野）、外国語（英語）

(主なポイント)

各教科のペーパーテスト調査の結果から

- 必要な情報を資料から読み取ることについては成果が見られるが、読み取った情報を整理してまとめることや、そこから自分の考えを表現すること、情報を基にその原因や理由を説明することについては課題があると考えられる。
- 基礎的・基本的な知識の理解は進んでいるが、知識と関連付けて表現することや、分析的・総合的に物事を捉えることについては課題があると考えられる。

特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動の質問調査の結果から

- 基本的に多くの設問において生徒の肯定的な回答の割合が高く、これらの教科・活動等に対する生徒の高い意欲がうかがわれる。

ペーパーテスト調査等の概要

● 調査実施校：中学校 1,356 校 実施生徒数 159,150人（延べ数）

※1教科1問当たり、3,600人程度の調査結果を得ることができるよう、調査対象を無作為抽出した。

● データを見るにあたって

○「1. 主な改訂のポイント」「2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題」「3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性」「4. 調査問題例」の4構成と「4」に対応する問題を別紙（問題例）で添付。

○「2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題」中の赤字部分は「相当数の児童ができている」もの、青字部分は「課題があると考えられる」もので、下線が付されているものは、「4. 調査問題例」及び別紙において問題例（質問項目例）が示されている。

※実技調査については、対象教科（美術、技術・家庭（家庭分野）、保健体育（体育分野）、外国語（英語）のペーパーテスト調査を実施する抽出校の中から調査を実施する学校を抽出。（1教科当たり350人程度：10校程度）

1. 平成29年学習指導要領の主な改訂のポイント

- 生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るための内容を充実
- 「知識及び技能」を活用しながら、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、これからの生活を展望して課題を解決するための内容を充実
- 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見だし、課題を設定し、解決方法を検討し、計画、実践、評価・改善する一連の学習過程を重視

2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題

- これからの生活を展望して課題を解決するために必要な「思考力、判断力、表現力等」の育成に関しては、生活における課題を解決するために、収集・整理した情報を活用し、適切に判断することについて相当数の生徒ができています。
- 生活の自立に必要な「知識及び技能」の習得に関しては、蒸し調理の仕方、衣服の状態に応じた日常着の手入れ、消費者被害を防ぐための取組等について課題があると考えられる。

3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性

- 指導上の改善点
 - ・生活の自立に必要な「知識及び技能」の確実な習得のために、実践的・体験的な活動を通して、生活事象の根拠などについて実感を伴った理解を深められるよう、指導の工夫を図る必要がある。
 - ・既習の「知識及び技能」や生活経験を基に設定した課題を解決するために、情報を活用し、最適な方法を選択、実践、改善できるよう指導を工夫し、引き続き問題解決的な学習の充実を図る必要がある。

4. 調査問題例（ペーパーテスト・実技 中学校/家庭分野）

「これからの生活を展望して課題を解決するために必要な『思考力、判断力、表現力等』の育成」の問題例
(別紙1参照)

- 目的に合った物資・サービスの購入に向けて、「複数の購入の条件」を踏まえた選択の視点について、収集・整理された商品の情報を比較し、総合的に判断する力が育成されているかを確認するための問題を出題。

【通過率 71.5%】

「生活の自立に必要な『知識及び技能』の習得」の問題例
(別紙2参照)

<ペーパーテスト>

- 衣服の状態に応じた日常着の手入れとして裾上げを取り上げ、適切な補修の仕方（まつり縫い）と、その縫い方で補修する理由を、根拠に基づいて説明できるか確認するための問題を出題。

(1)補修の仕方（縫い方の名称） 【通過率 41.1%】

(2)その縫い方で補修する理由 【通過率 33.7%】

<実技調査>

- まつり縫いができるかを確認するための調査。

【通過率 27.2%】

「これからの生活を展望して課題を解決するために必要な『思考力、判断力、表現力等』の育成」の問題例

家庭 第1学年～第3学年 内容C(1)イ 物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫することについて問う問題

- 目的に合った物資・サービスの購入に向けて、「複数の購入の条件」を踏まえた選択の視点について、収集・整理された商品の情報を比較し、総合的に判断する力が育成されているかを確認するための問題を出題。
- ・この問題は、小学校における内容C(1)イ「購入に必要な情報を活用し、身近な物の選び方、買い方を考え、工夫すること。」の学習を発展させたものである。こうした系統的な学びが、目的や条件に合った商品の購入のために、収集した多様な情報を整理し、比較・検討した結果を活用して、総合的に判断する力の育成に結び付いている。

3 Aさんの家族は、テレビを購入することにしました。【購入の条件】は以下のアからオです。購入候補として選んだ4つの商品の情報は、表に示すとおりです。

Aさんの家族はどの商品を購入するのがよいですか。総合的に考えて、選んだ商品名（a、b、c、d）と選んだ理由を答えなさい。(6)

【購入の条件】

- ア 画面は50型くらいのも
- イ 予算は15万円前後のもの
- ウ 録画機能がついているもの
- エ 保証がついているもの
- オ 環境負荷の少ないもの

表 商品の情報

商品 選択の視点	a	b	c	d
画面 サイズ	55型 4K液晶	48型 4K液晶	48型 4K有機EL	55型 4K有機EL
税込価格	172,000円	147,000円	152,000円	155,000円
品質・機能	インターネット 接続可 複数チャンネル 同時録画機能有	インターネット 接続不可 録画機能有	インターネット 接続可 録画機能有 高画質	インターネット 接続可 録画機能有 高画質
アフター サービス	メーカー1年保証 プラス3,000円で3年延長保証	メーカー1年保証 プラス1,000円で3年延長保証 故障時、すぐに対応	メーカー1年保証 (落雷による故障を含む)	メーカー 6ヶ月保証
消費電力	219W	162W	256W	421W

※有機EL：電気を流すと発光する性質の有機物質を使った現象のこと

【正答】

【正答例】

商品名	理由
3 b	品質・機能の点では、他の商品の方が優れている部分もあるが、bはア～オの購入の条件を全て満たしており、最適であると判断したため。

(6)

【通過率 71.5%】

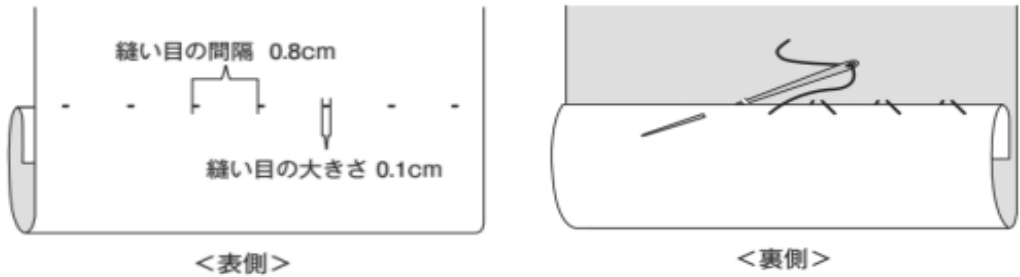
「生活の自立に必要な『知識及び技能』の習得」の問題例

家庭 第1学年～第3学年 内容B(4)ア(イ) 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れを理解し、適切にできることについて問う問題

○衣服の状態に応じた日常着の手入れとして裾上げを取り上げ、適切な補修の仕方（まつり縫い）と、その縫い方で補修する理由を、根拠に基づいて説明できるか確認するための問題を出題。

- ・この問題は、小学校における内容B(5)ア(イ)「手縫いやミシン縫いによる目的に応じた縫い方について理解し、適切にできること。」の学習と関連している。小学校では、手縫いとして、なみ縫い、返し縫い、かがり縫いなどを扱い、縫い方の特徴や、縫う部分や目的に応じて適した縫い方を選ぶ必要性について学んでいる。
- ・中学校では、まつり縫いについて扱うが、名称を知らなかったり、なぜその縫い方をするのかについて理由を正しく記述できていなかったりする生徒が多かった。また、実技調査として、まつり縫いができるかを確認したところ、通過率27.2%と低く、ペーパーテストの結果を裏付けるものとなった。なぜその縫い方をするのか根拠に基づいて説明できるようにすることが、技能の習得のためにも重要である。

13 制服のズボンのすそがほつれていたので、下の図のような縫い方で補修をすることにしました。次の(1)、(2)の問題に答えなさい。



(1) この縫い方の名称を、次の1から4の中から1つ選びなさい。(30

- 1 なみ縫い
- 2 かがり縫い
- 3 本返し縫い
- 4 まつり縫い

(2) (1)のような縫い方をする理由を、30字以内で答えなさい。(31

13	(1)	4	【正答】		【正答例】								
			(30										
	(2)	表側から見える縫い目	が	目立たない縫い方が	よい	ため。						(31	

(1) 【通過率 41.1%】 (2) 【通過率 33.7%】